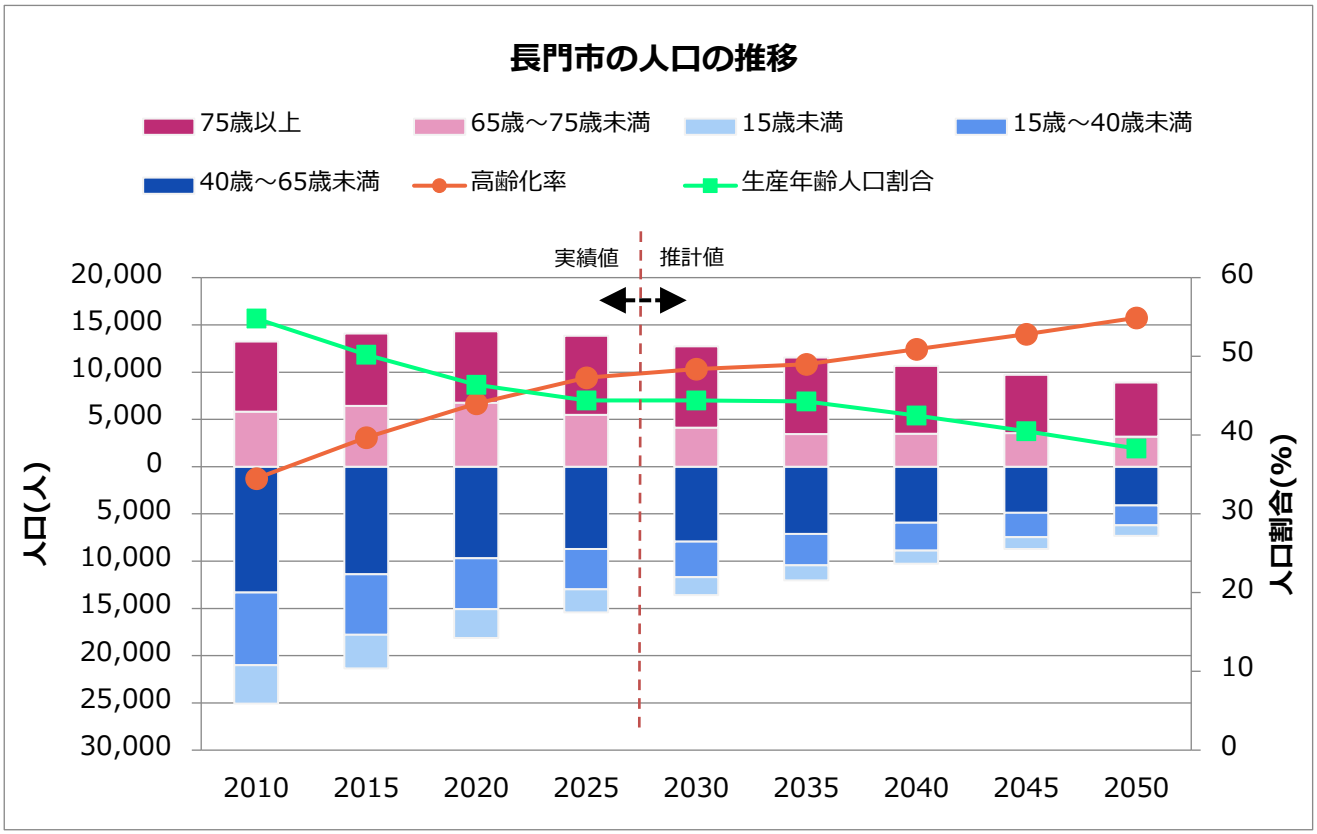
◆長門市の人口の推移と推計

長門市の総人口は近年減少傾向で推移しており、2010 年（H22）から 2020 年（R2）までに 5,830 人減少しています。さらに 2020 年（R2）以降も人口減少がますます進むと予測され、2045 年（R27）には、総人口 20,000 人を割り、2050 年（R 32）には、総人口 16,197 人となる見込みです。

65 歳以上の人口は 2020 年（R2）にピークを迎えて以降減少に転じていますが、15 歳から 65 歳未満の生産年齢人口も減少しており、2025 年（R 7）には、65 歳以上の人口が生産年齢人口を逆転しています。

また、2030 年（R12）までは 75 歳以上の人口が増加し、その後急速に減少していく見込みです。



		2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
人口	(人)	38,349	35,439	32,519	29,266	26,345	23,572	20,928	18,433	16,197
15歳未満	(人)	4,064	3,560	3,039	2,437	1,916	1,566	1,377	1,235	1,108
15歳～40歳未満	(人)	7,676	6,392	5,365	4,287	3,742	3,321	2,951	2,569	2,099
40歳～65歳未満	(人)	13,329	11,401	9,712	8,700	7,943	7,131	5,947	4,898	4,105
65歳～75歳未満	(人)	5,815	6,431	6,764	5,479	4,108	3,448	3,493	3,532	3,182
75歳以上	(人)	7,434	7,639	7,554	8,363	8,636	8,106	7,160	6,199	5,703
生産年齢人口	(人)	21,005	17,793	15,077	12,987	11,685	10,452	8,898	7,467	6,204
高齢者人口	(人)	13,249	14,070	14,318	13,842	12,744	11,554	10,653	9,731	8,885
生産年齢人口割合	(%)	54.8	50.2	46.4	44.4	44.4	44.3	42.5	40.5	38.3

（出典）2000 年～2020 年まで：総務省「国勢調査」

2025 年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）」

◆高齢化率の状況

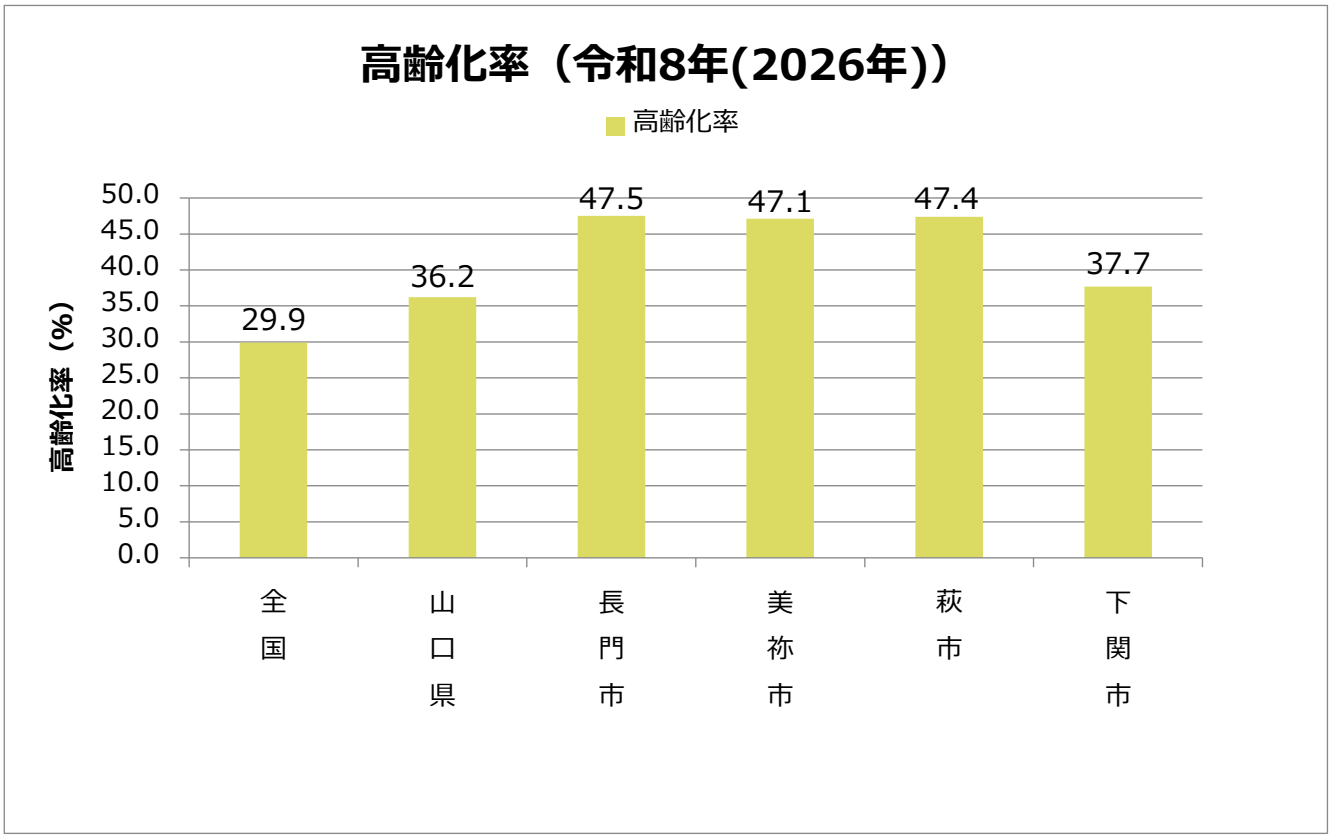
長門市の高齢化率は、全国平均、山口県平均、および近隣市と比較して最も高く、県内の市の中では最高値となっています。また、高齢化率の推計値における全国順位が上昇していることから、高齢化の進行速度が全国的に見ても速いことが示されています。今後の見通しとしても高齢化率の上昇は続くと予測され、2040 年（R22）には 50%を超えることが見込まれます。

※長門市の高齢化率の降順（令和 8 年（2026 年））推計値

山口県内　19 保険者のうち 4 番目、全国　1,563 保険者のうち 170 番目

※長門市の高齢化率の降順（令和 2 年（2020 年）10 月時点）実績値

山口県内　19 保険者のうち 4 番目、全国　1,570 保険者のうち 194 番目



（時点）令和 8 年（2026 年）

高齢化率（%）	2021	2022	2023	2024	2025	2030	2035	2040	2045	2050
長門市	44.6	45.3	45.9	46.6	47.3	48.4	49.0	50.9	52.8	54.9
下関市	35.8	36.2	36.7	37.1	37.6	38.2	39.0	41.4	43.0	44.0
美祢市	43.3	44.1	45.0	45.8	46.8	48.6	50.2	52.9	55.0	56.5
萩市	44.5	45.1	45.8	46.5	47.2	48.6	49.9	52.8	55.5	57.5
山口県	34.6	35.0	35.3	35.7	36.0	36.6	37.6	40.0	41.5	42.3

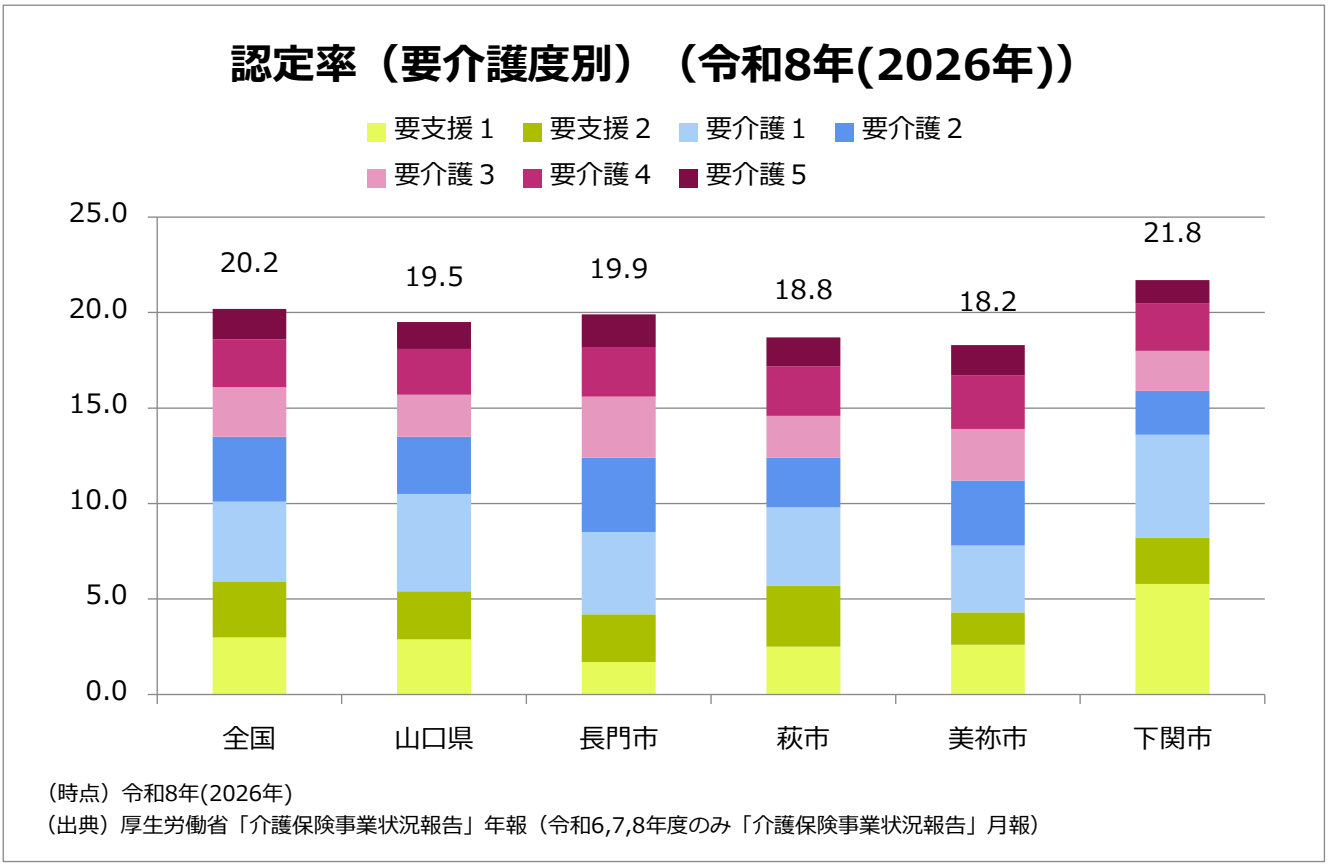
（出典）総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

◆認定率

認定率は、全国や山口県の平均と大差ありませんが、近隣の萩市・美祢市に比べるとやや高い傾向にあります。

要介護度別に見ると、本市は毎年一貫して「要支援１」の割合が全国や県内の近隣市より際立って低い一方、「要介護２」の割合が高いという特徴があります。

なお、比較したいずれの地域においても、「要介護１」の割合が高い部分は共通しています。



（時点）令和8年(2026年)

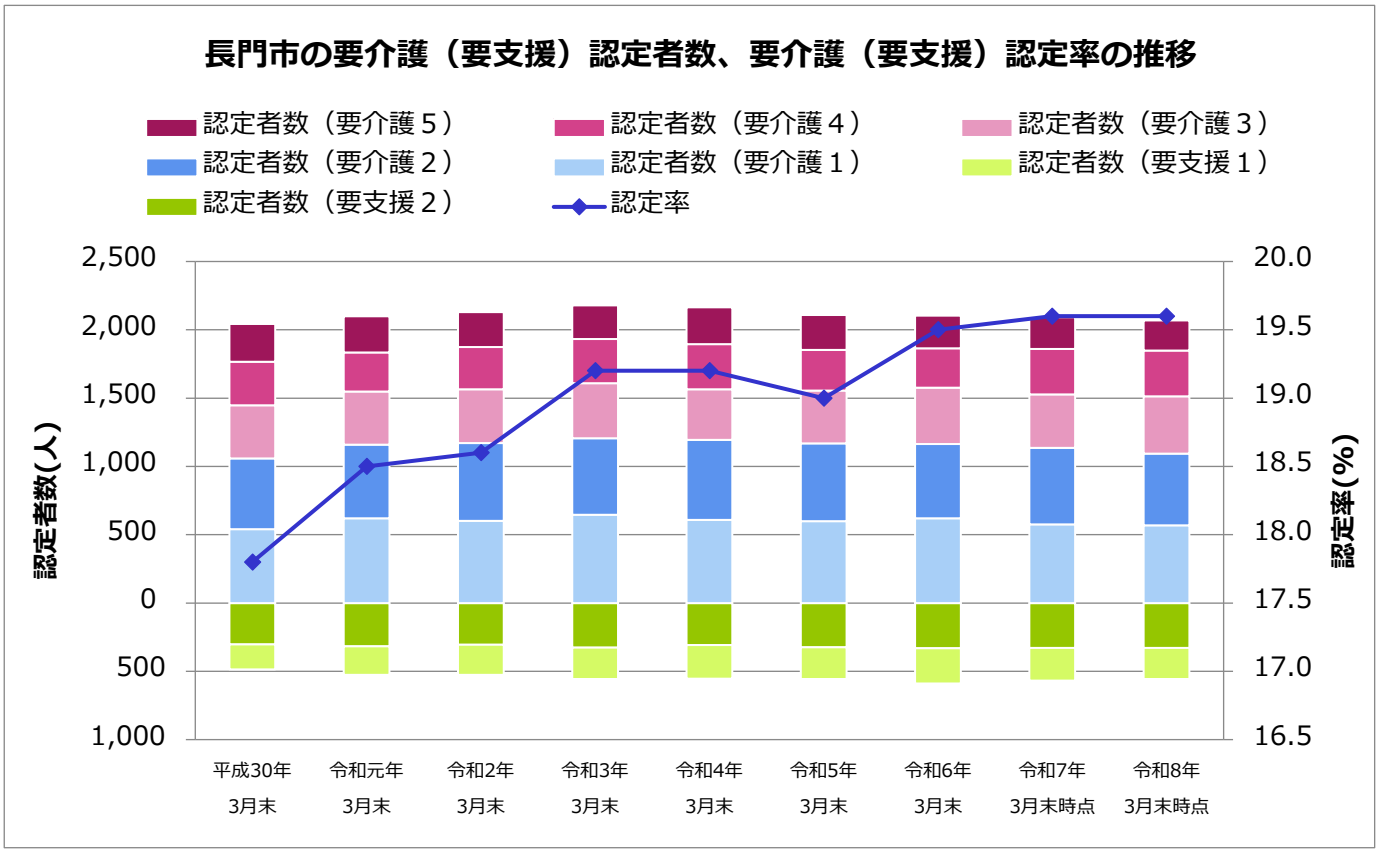
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7,8年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

	全国	山口県	長門市	萩市	美祢市	下関市
要支援１	3.0	2.9	1.7	2.5	2.6	5.8
要支援２	2.9	2.5	2.5	3.2	1.7	2.4
要介護１	4.2	5.1	4.3	4.1	3.5	5.4
要介護２	3.4	3.0	3.9	2.6	3.4	2.3
要介護３	2.6	2.2	3.2	2.2	2.7	2.1
要介護４	2.5	2.4	2.6	2.6	2.8	2.5
要介護５	1.6	1.4	1.7	1.5	1.6	1.2
合計認定率	20.2	19.5	19.9	18.8	18.2	21.8

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

◆長門市の要介護（要支援）認定者数・認定率の推移

本市の要介護認定率は上昇傾向にあり、全国平均とほぼ同水準で推移しています。認定者総数は、令和 3 年度の約 2,700 人をピークに、今後は緩やかな減少が見込まれます。要介護度別に見ると、一貫して「要介護 1」が最も多く、次いで「要介護 2」が多い構成となっており、この 2 区分で認定者数全体の 4 割以上を占めています。



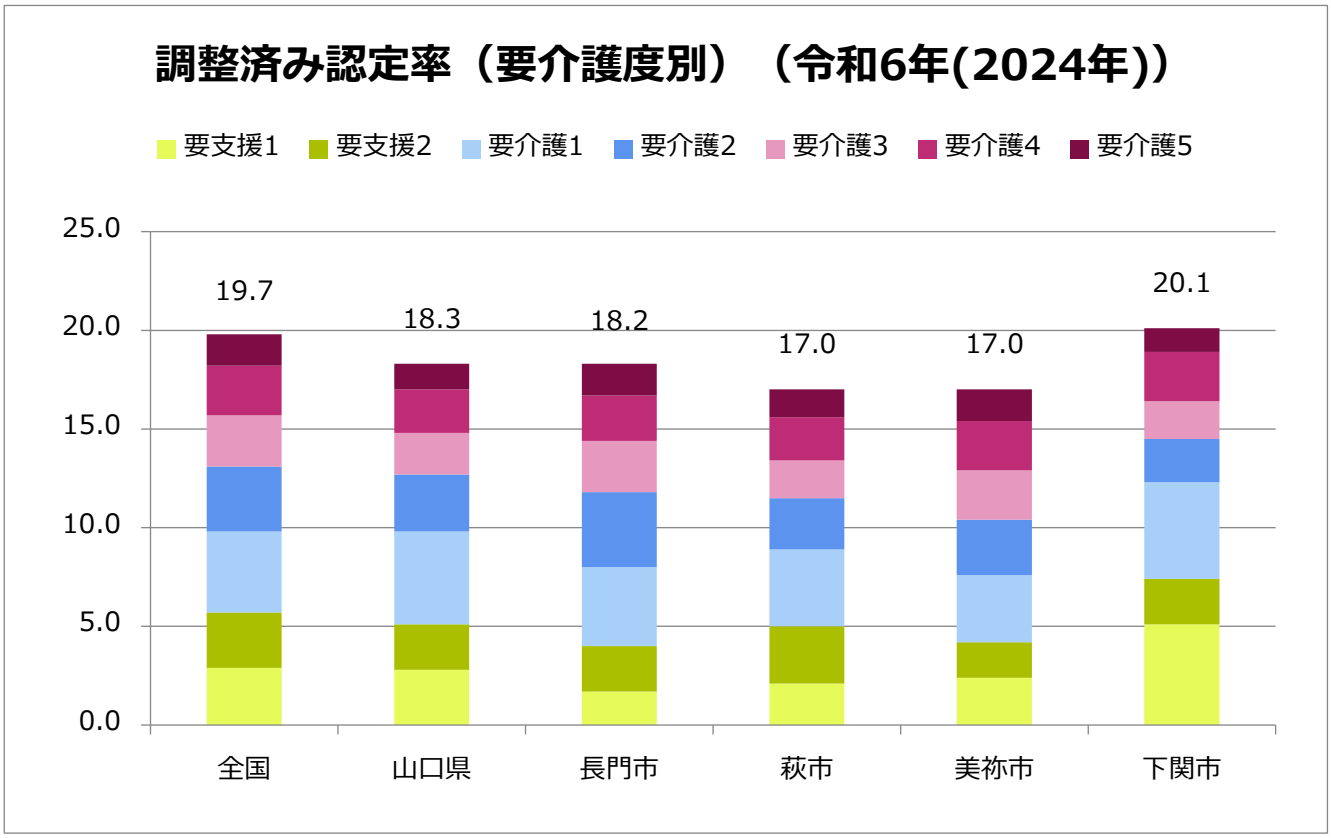
		平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末	令和3年 3月末	令和4年 3月末	令和5年 3月末	令和6年 3月末	令和7年 3月末時点	令和8年 3月末時点
認定者数	(人)	2,528	2,627	2,655	2,736	2,720	2,665	2,691	2,660	2,625
認定者数（要支援１）	(人)	182	209	219	231	246	233	257	240	227
認定者数（要支援２）	(人)	303	318	306	326	309	324	331	329	329
認定者数（要介護１）	(人)	541	620	602	645	609	599	620	575	568
認定者数（要介護２）	(人)	517	539	568	561	585	570	544	560	526
認定者数（要介護３）	(人)	389	389	394	403	370	387	413	393	420
認定者数（要介護４）	(人)	320	287	311	324	332	296	288	333	333
認定者数（要介護５）	(人)	276	265	255	246	269	256	238	230	222
認定率	(%)	17.8	18.5	18.6	19.2	19.2	19.0	19.5	19.6	19.6
認定率（単位）	(%)	18.9	19.0	19.0	19.2	19.0	19.0	19.1	19.3	19.5
認定率（全国）	(%)	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.0	19.4	19.7	20.2

（出典）平成 29 年度から令和 5 年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和 6 年度から令和 7 年度：「介護保険事業状況報告（3 月月報）」

◆調整済み認定率

調整済み認定率でみると、調整前と比べ全国平均との差が大きくなっています。第 1 号被保険者に占める後期高齢者の割合が全国平均よりも高いため、調整を行っていない認定率より調整済み認定率が低くなっているものと思われます。

※調整済み認定率とは、認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第 1 号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率を意味します。第 1 号被保険者の性・年齢別人口構成が、どの地域も、ある地域または全国平均の 1 時点と同じになるよう調整することで、地域間で比較がしやすくなります。

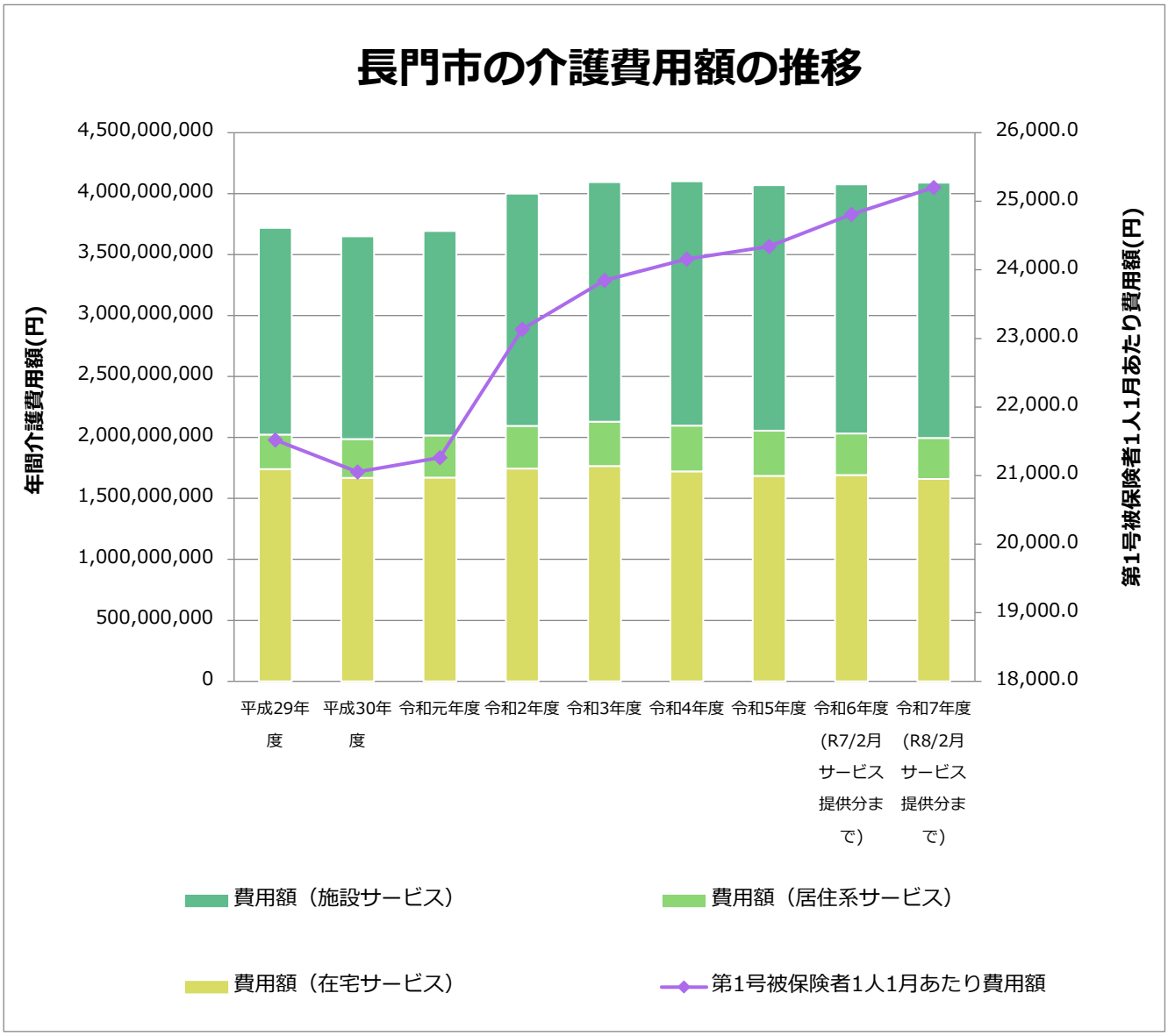


（時点）令和 6 年（2024 年）

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和 6 年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

◆介護費用額の推移

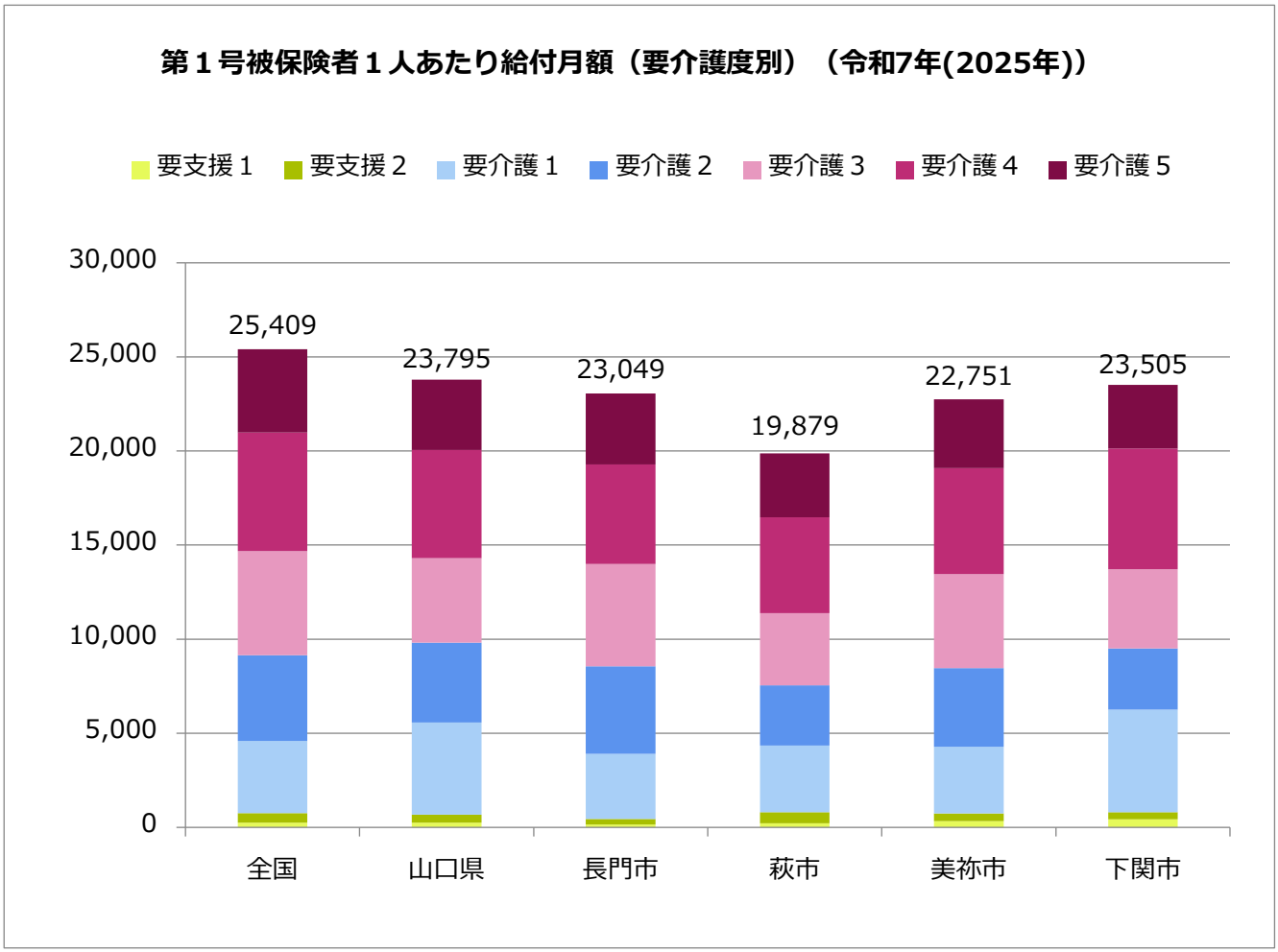
１人１月あたりの費用額は、2020 年（R2）から上昇しております。これは、要介護（要支援）認定者の高齢化が進み、介護サービスの利用量が増加しているためと考えられます。今後も上昇することが見込まれます。サービス別に見てみると、施設サービスの費用額が増加している一方、在宅サービスの費用額が減少しています。



（出典）【費用額】平成 29 年度から令和 5 年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和 6 年度、令和 7 年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の 12 か月累計（※補足給付は費用額に含まれていない）
【第 1 号被保険者 1 人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告月報」における第 1 号被保険者数の各月累計で除して算出

◆第１号被保険者１人あたりの給付月額

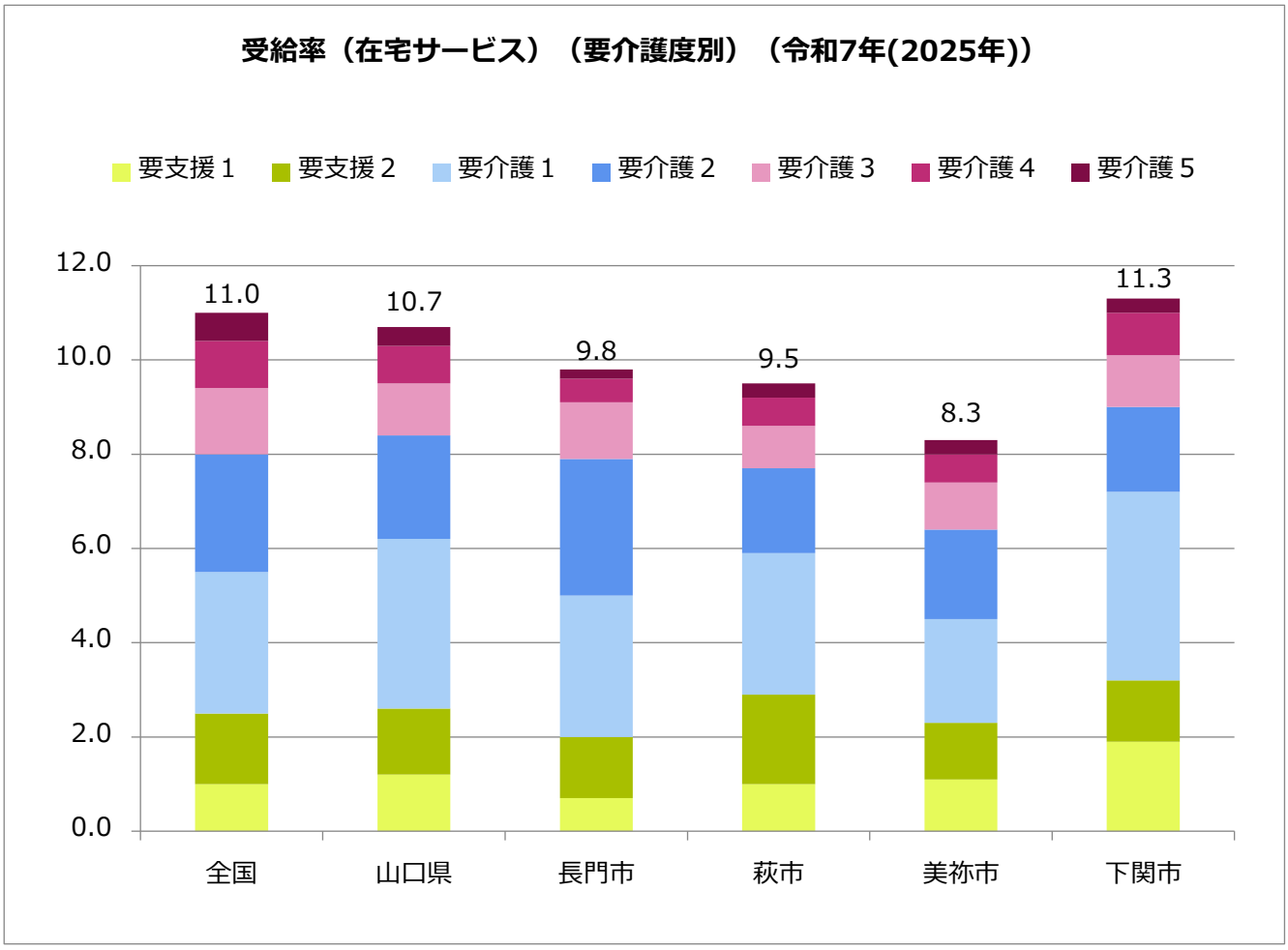
第１号被保険者１人あたりの給付月額は、総額では全国や県の平均を下回っています。しかし、介護度別に詳しく見ると、要介護２の給付月額は全国・県平均や近隣市より高いのに対し、要支援１・２の給付月額は低いという特徴があります。



（時点）令和７年（2025 年）、（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

◆受給率（在宅サービス）（要介護度別）

在宅サービスの受給率は、全体では全国・山口県平均を下回っています。その内訳を介護度別に見ると、要介護２の受給率が全国・県平均及び近隣市より高いのに対し、要支援１、ならびに要介護４・５の受給率は、低い傾向にあります。



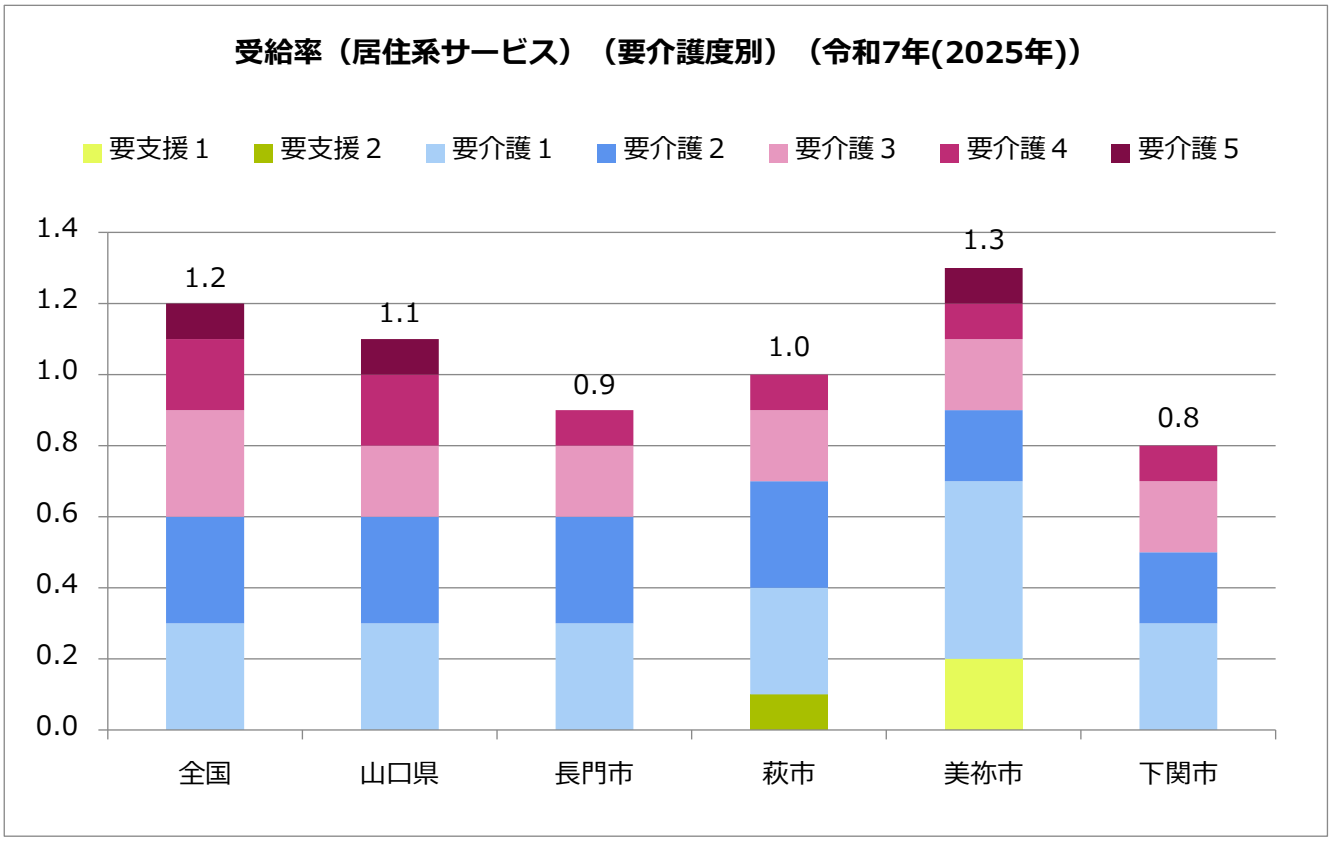
（時点）令和７年（2025 年）、（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

【在宅サービスの内訳】

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

◆受給率（居住系サービス）（要介護度別）

居住系サービスの受給率は、全国・山口県平均、近隣市（萩市・美祢市）より低くなっています。
他市に比べて、居住系サービス事業所が少ないため、受給率が低いものと思われます。



（時点）令和 7 年（2025 年）、（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

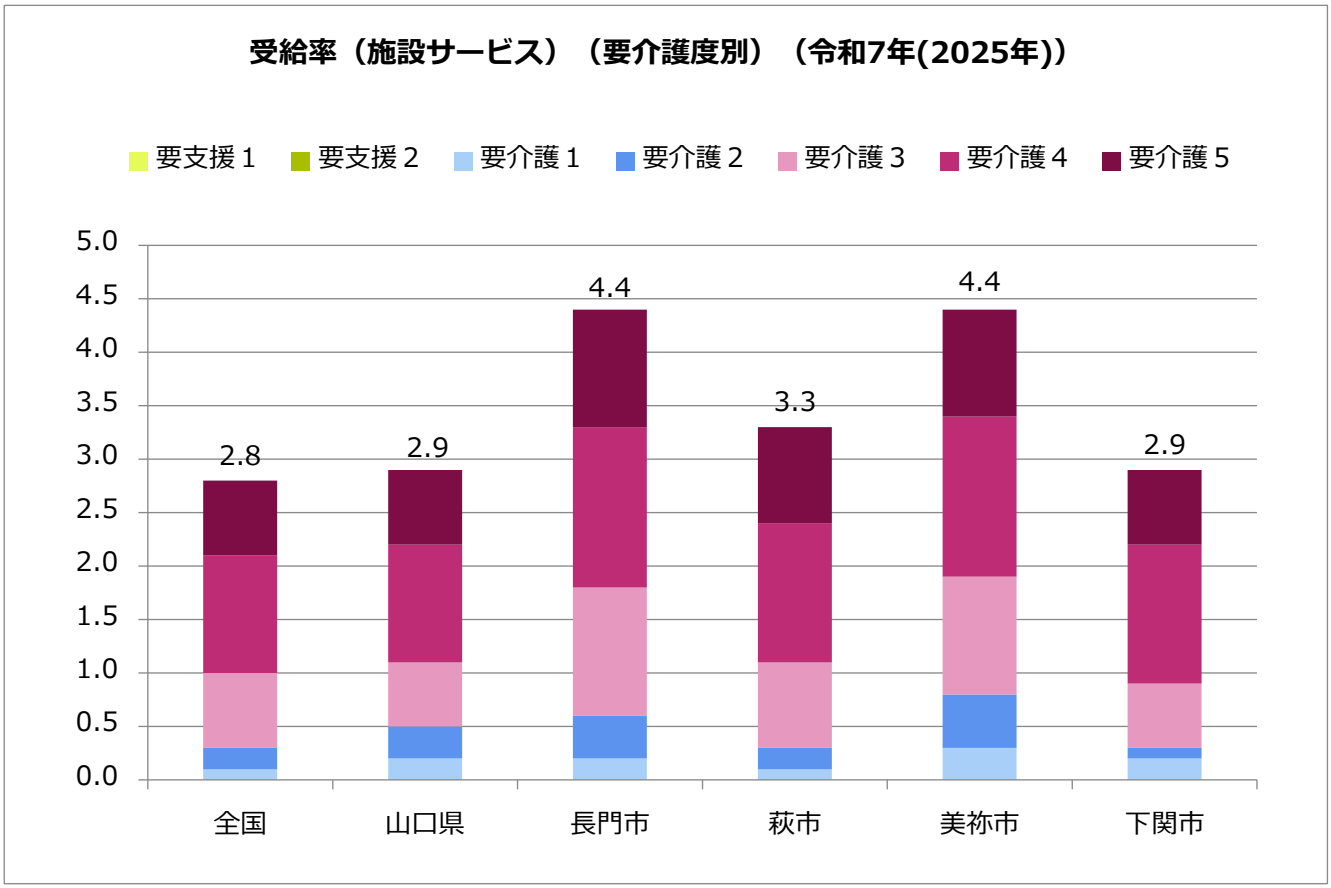
【居住系サービスの内訳】

特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護

◆受給率（施設サービス）（要介護度別）

施設サービスの受給率は、全国・山口県平均、近隣市（萩市・下関市）より高くなっています。

施設サービスへの依存が強く、施設入所希望者が多い傾向にあると思われます。また、第１号被保険者に対する施設の定員の割合が近隣市よりも大きいためと思われます。



（時点）令和７年（2025 年）、（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

【施設サービスの内訳】

介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院

【長門市の傾向】

① 本市の総人口は著しい減少傾向にあり、2020 年の約 3.2 万人から 2050 年には約 1.6 万人まで半減する見込みです。一方、高齢化率は全国・山口県平均を大幅に上回り、2040 年には 50%を超える極めて高い水準で推移すると推計されています。高齢化率が増加する要因として、65 歳以上の減少幅よりも生産年齢人口の減少幅が大きいためです。また、人口ボリュームの大きい 70 歳代の人口が高齢化しており、認定率が急激に高くなり始める 80 歳以上の人口が 2030 年ごろまでは増加していくものと想定されることから、介護サービスの需要も増加することが見込まれます。

② 介護認定率（合計）は全国平均と大差ないものの、「要介護２」の認定率が全国平均や近隣市に比べて突出して高い反面、軽度である「要支援１」の認定率が低い傾向にあります。今後の認定率は、認定率が急激に高くなり始める 80 歳以上の人口が増加する想定であることから、高くなっていくものと考えられます。

③ 受給率は、在宅サービス及び居住系サービスについては全国・山口県平均を下回る一方、施設サービスについては、全国・山口県平均を大きく上回っております。高齢者単身世帯や高齢者夫婦のみの世帯が多い地域であることや、在宅サービスが限られていることから、介護サービスの提供体制が施設に強く依存していることを示唆しています。